

す。昭和初期の農村不況の時代には打撃を受けながらも、町では一宮経済更生委員会をつくって対策を指導。そして、第二次世界大戦直後に実施された農地改革によって農業の世界に大変革が起きると、一宮の農業も生産技術の向上や大型機械化により、都市近郊型の新しい段階に入ります。

例えば稲作以外でいうと、江戸時代から盛んだった野菜づくりは南瓜（かぼちゃ）や西瓜（スイカ）といった瓜系の作物の生産は、露地栽培トマトや金マクワ瓜などに取って代わられました。しかも、そのトマトの栽培自体も、露地からビニールハウス、そしてコンピュータ制御のガラス温室へと変遷。設備拡充とそれに伴う増産には目を見張るものがあります。

また、現在、一宮の特産品として有名なのが梨とメロン。梨の場合、明治6年に綱田の農家、関宗助がいまの「東上総梨」となる元の苗木を植えて栽培を試みたことが始まりといわれています。



一宮郵便局 (改築前)



一宮実業学校 (旧一宮病院)

避暑地、一宮

冬暖かく、夏涼しい景勝の地である一宮は、観光地としての歴史があります。明治44年には、海水浴場が開設され、明治末期から昭和10年代頃には、夏になると大勢の避暑客を集めました。芥川龍之介などの文人をはじめ、政治家、軍人、財界人といった名士たちがこぞって来訪し、最盛期には100軒近い別荘が建ち、一宮は「東の大磯」と呼ばれました。

そのにぎわいは、戦争や経済状態の悪化などから途絶えてしまいました。その後、別荘は企業などの保養所に姿を変え、昭和40年代以降は、ゴルフ場や乗馬クラブ、サーフィンといった新しい遊びの場のあるリゾート地として復活しています。また、夏には観光用の地曳き綱が行われ、観光客に喜ばれています。



旧一宮町商工会

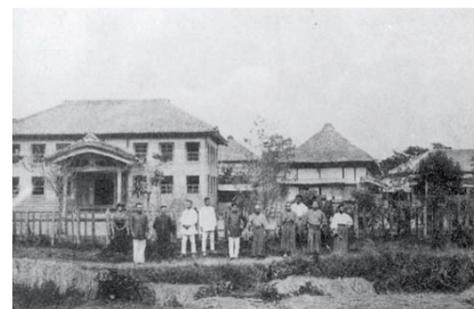
「献上シジミ」 献上シジミ

かつての一宮川は水がきれいで、淡水魚貝類にはとても住みやすい環境でした。潮の引いた川の瀬に足を差し入れると、ゴツゴツと貝が当たるほどたくさん獲れたそうです。ここで獲れるシジミは大粒で、味も格別だったといわれています。シジミはやや黄みがかった色をしていることから、黄シジミともいわれました。

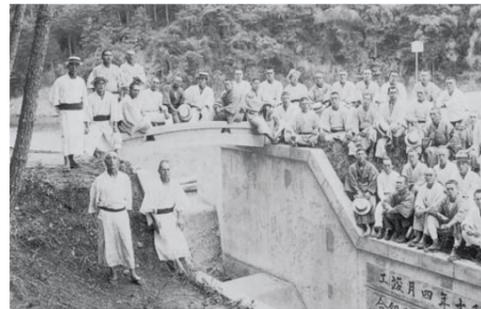
このシジミは、一宮藩主加納公が毎年将軍に差し上げたため、「献上シジミ」と呼ばれるようになりました。また、明治の詩人梁川星巖は、この地を訪れて口にしたシジミを、風味絶倫であると表現しています。



一宮尋常高等小学校校舎 (大正時代)



東浪見尋常高等小学校 (大正11年)



昭和初期の耕地整理



元旦那ぎさマラソン



昭和はじめ頃の梨畑

一宮町の歴史

- 1966年 (昭和41年) 東浪見婦人会と「一宮婦人会」が統合
- 1967年 (昭和42年) 役場庁舎、現在地に竣工 / 母子休業ホームなごの家業務開始
- 1968年 (昭和43年) 町営住宅を新築に建設 (44年) / 野栗出近代化事業完成 / 自然公園助成事業 (海岸道路) / 着工 / 一宮町体育協会設立
- 1969年 (昭和44年) 一宮町社会福祉協議会を法人に改組
- 1970年 (昭和45年) 町営住宅を大村に建設 / 国民宿舎新館竣工 / 国勢調査 人口10929人 世帯数2309世帯
- 1971年 (昭和46年) 一宮中学校新校舎竣工 / 長生郡市広域市町村圏組合を設立 / 公社電話自動化施設完成 / 用途区域の決定
- 1972年 (昭和47年) 中央公民館竣工 / 全町上下水道完成 / 国鉄外房線電化工事完成 / 東浪見小学校新校舎竣工
- 1973年 (昭和48年) 合併20周年記念式典挙行 / 東浪見保育所完成 / 下村施設園芸モノル団地完成
- 1974年 (昭和49年) 自転車新設工事着工 (谷場前) / 海岸四
- 1975年 (昭和50年) 老人福祉センター完成 / 国勢調査 人口10995人 世帯数2464世帯
- 1976年 (昭和51年) 東部土地改良農営ほ場整備事業始まる / 宮原排水工事完成
- 1977年 (昭和52年) 町営野球場完成 / 上総おどり始まる / 灯籠流し復活
- 1978年 (昭和53年) 一宮小学校新校舎完成 / 県立長生養護学校 一宮町へ移転 / 東浪見中部施設園芸団地完成
- 1979年 (昭和54年) 一宮保育所新築竣工 / 憩いの森完成 / 日本一の省エネ1千温室団地完成 / 東浪見海水浴場新設
- 1980年 (昭和55年) 国鉄横須賀線 (宮ノ久里浜間) 直通運転開始 / 一宮号運転開始 / 国勢調査 人口10486人 世帯数2724世帯
- 1981年 (昭和56年) 臨海運動公園完成
- 1982年 (昭和57年) 山梨一宮町と友好町締結 / あらおい橋完成 / 7区に1に農営住宅完成
- 1983年 (昭和58年) 新地区温室団地建設 / 梨のハウス栽培開始 / 振武館完成 / 合併30周年記念事業
- 1984年 (昭和59年) 商工会館建設 / 東浪見北部温室団地建設
- 1985年 (昭和60年) 防災行政無線開設 / GSSセンター完成 / 6郡県合同防災訓練 / 一宮町で開催 / 国勢調査 人口10697人 世帯数2690世帯
- 1986年 (昭和61年) 綱田線橋完成 / 綱田地区ライズセンター完成 / 駅前観光物産直売所、観光案内所開設
- 1987年 (昭和62年) 原保所新築完成 / 都市下水道事業着手 / 千葉県東方沖地震発生
- 1988年 (昭和63年) 町をきれいにする課発足 / 町づくり研究会発足 / 本給、東浪見、区画整理事業認可着工
- 1989年 (平成元年) 町の花「山ゆり」選定 / 一宮町環境美化推進町民大会開催 / 環境美化宣言 / 綱田地区の区画整理事業認可着工 / 8月1日豪雨 / 山ゆりの球根配布
- 1990年 (平成2年) 町制100周年記念事業 / 農業集落排水事業原地区処理場完成 / 一宮町民憲章制定 / 幼児広場完成 / 国勢調査 人口11335人 世帯数3181世帯
- 1991年 (平成3年) 一宮川等流域環境保全推進協議会発足 / 献血推進地区モデル事業「さわやかハート」はげ5ヶ年計画 (千葉県) / 法律相談開始 / ホームタウン特選開設
- 1992年 (平成4年) 本給土地区画整理事業完了 / 一宮町スポーツ財団設立 / トマト館完成 / 中央ポンプ場建設工事完成 / 一宮小学校120周年記念式典 / 一宮町総合計画策定 / 第1次実施計画
- 1993年 (平成5年) 津波避難訓練 / 東浪見小学校20周年記念式典 / 稲作不作 / 都市下水道通水 / 土曜閉庁 / 農営住宅 (船頭給地区) 着手 (9年) / 公民館図書室分室商工会館に設置 / ロマンロード着手 (8年)
- 1994年 (平成6年) 都市マスタープラン策定 / 老人福祉計画策定 / 一宮中学校改築着工 (77年) / 各集会所にビデオ内蔵テレビを設置 / おはようわかしお号運転開始 / JAKクリンウエーブ着工 (77年)
- 1995年 (平成7年) 国勢調査 人口11302人 世帯数3433世帯 / 第2次実施計画 / 非核平和都市宣言 / 一宮町合併40周年、終戦50周年記念事業として、ひるの歌謡曲公開録音、放送 / 中ノ橋架け替え工事完成 / 農村自然環境整備事業上総地区事業採択 / 模範議会開催 / 一宮川流域治水環境対策協議会設置 / 国民健康保険、脳ドック開始 / 台風12号 / 一宮町に大きな被害
- 1996年 (平成8年) 台風17号 / 一宮町に大きな被害。一宮川激甚災害対策特別緊急事業採択 / 第1回上総国一宮まつり開催 / 農業集落排水事業東浪見クリーンプラント完成 / 特別養護老人ホーム / 一宮町民センター / 海外ホームスライ実施 / 保健センター / 開設 / 玉前神社殿と種札、県指定有形文化財に指定
- 1997年 (平成9年) 機構改革で河川対策課を設置。水害対策事業を重点施策に位置付ける / 天道橋設置 / 農営住宅 (船頭給) 完成 / 特別養護老人ホーム1一宮苑でサービス / 介護支援事業開始 / 一宮タウン会 / ポイントカードを実施 / 一宮中学校50周年記念事業
- 1998年 (平成10年) 海岸車両乗り入れ規制 / 残土条例施行 / 一宮町入町長への手紙実施 / 水害対策事業完成
- 1999年 (平成11年) 保健センター建設 (12年) / 一宮川「ふるこの川整備事業」に指定 / 街路灯設置
- 2000年 (平成12年) 電話予約で、休日の証明書を交付 / 河川改修事業着手 / 商工会と一宮タウン会 / プレミアム付き商品券発売 / 地下水汚染除去 / シルバー人材センタースタート / 国勢調査 人口11648人 世帯数3752世帯 / 増田明美さんを講師に、健康まつりを開催 / 東浪見小学校 全国保健体育優良校表彰 / 農業集落排水事業北地区 (15年)
- 2001年 (平成13年) 「芥川」が「国登録文化財」 / 「桃太郎おたけ隊」結成 / 鷺澤達則くん (日本三校) 全国高校野球選手権大会優勝 / 小倉全日本大三校野球部監督を迎え教育講演会開催 / 一宮保育所全国大会で研究発表 / ホームベーシを再構築 / 松子川ネイチャーパーク結成
- 2002年 (平成14年) 一宮町土木専門委員会解散 / 一宮観光いちご組合設立 / 通院介助事業「にこにこサービス」に改称し充実 / 一宮中学校耐震補強工事実施 / 住民基本台帳ネットワークシステム稼働 / 一宮海岸の浜庫の状況、営本知事視察 / 合併問題について / 住民説明会開催 / 合併策支援地域に指定される
- 2003年 (平成15年) 浜庫対策 着手 / 台風により海岸護岸に被害 / 長生郡市合併協議会設置 / 東浪見青年研修所跡地に集会所建設 / 防災行政無線親局を改修 / 浜庫のためはたして歩こう大会中止 / 東浪見小学校環境省自然環境局長賞受賞 / まちづくり計画懇談会設置 / 創作の里建設 / 一宮土木社祭り、県指定無形民俗文化財に指定 / 観明寺十一面観音立像、県指定有形文化財に指定